

# 令和3年度 補正事業計画

令和3年10月15日付変更

変更箇所：各部門利用人数及び概要

## I 基本方針

未だに収束が見えない新型コロナウイルス感染症の影響により、利用客が大幅に減少していることに加え、北海道スタイルをはじめ、感染拡大防止策に則った会場の利用、集会、コンサートの開催などの経費の増加など、令和2年度の財団の事業、運営は非常に厳しい状況にあります。

このような状況の中、財団存続のためには、債務超過を解消し、正味財産300万円以上の確保が必達目標となります。このため令和3年度は、徹底した経費節減を図るとともに、収入の最大化を目指しコロナ禍における施設利用の提案、商品開発に努め、今まで以上に収益性を高めた事業展開をいたします。

## II 具体的な取組

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症対策に係る市保健所の利用など、札幌市により、2階4室、3階2室、4階2室の通年利用が見込まれています。

財団としては、これらの事業に協力しつつ、その他の会場の効率的な販売、ホール、プールなど公益的部門の安定運営に努めます。

各部門の見通しとしては、新型コロナウイルス感染症の拡大がワクチン接種などにより、落ち着きをみせたとしても、当面は感染拡大防止策を講じた上での利用となり、令和2年度同様、少人数での利用が続き、コロナ禍以前の規模での利用は期待し難いものと見ています。

このような状況を踏まえ、各部門の傾向、並びに目標は下記のとおりです。

※ 達成率は、過去5年(コロナ禍以前=H26~H30)平均との比較

部 門	計 画	概 要
プール	利用人数 29,757人	現在、コロナ禍前と比較して(1月比較)、水泳教室の会員数が約75%、一般開放は約58%の利用状況です。感染症対策に充分配慮した運営を心がけ、約36%の達成率を計画としました。
ホール	利用件数 116件 利用区分数 286区分 利用人数 22,160人	まだまだ、集客を望む公演を受注できる状況ではありませんが、会議室の代替会場としての利用促進などに努めます。件数で約41%の達成率を計画としました。

部 門	計 画	概 要
文化教室	利用人数 11,993人	楽しい音楽（カラオケ）教室等、未だ開催の出来ない教室もありますが、各教室、少人数での運用となっているため、新型コロナウイルス感染症の影響が小さい部門となっています。約53%の達成率を計画としました。
会議・研修	利用件数 5,352件 利用人数 100,267人	札幌市の利用を見込み、件数で約226%の達成率を計画としますが、人数では、札幌市以外の利用も含め、小規模、少人数化していることから、ほぼ例年並みの計画としました。
宿泊	客室稼働率 32.1% 利用人数 7,840人	サッカー協会や高体連などのスポーツ大会関係の需要を見込みますが、エキストラベッド（追加のベッド）対応は望めないことから、利用人数で約38%の達成率を計画としました。
レストラン	利用人数 32,312人	新型コロナウイルス感染症の影響を受けた部門ではありますが、徐々に回復傾向になっています。しかしながら夜の時間帯の利用が伸びないため、宴会場の1つとしての販売も視野に入れ、約34%の達成率を計画としました。
宴会	利用件数 44件 利用人数 341人	新型コロナウイルス感染症の影響を最も受けた部門となっています。 件数で約4%、利用人数では1%の達成率を計画としました。
法要	利用件数 50件 利用人数 537人	宴会部門同様、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた部門となっています。 件数で約25%、利用人数では17%の達成率を計画としました。